

有志舎の新刊です。2020年9月下旬刊行

# 戦争・革命の東アジアと日本の共産主義

—1920—1970年—

黒川伊織 著

四六判・ハードカバー・374ページ 本体価格 2,800円

東アジアの共産主義は、戦争と革命の20世紀をいかに生き、いかに出会い、そして別れていったのか。忘却の彼方の〈生きられた経験〉から描きなおされる、もうひとつの日本共産党史！

(目次)

はじめに—〈帝国に抗する社会運動〉のその後へ—

第1章 「東洋の小さいインタナショナル」を目指して

第2章 国際共産主義運動と「日本の運命」

第3章 中国国民革命下の上海—東京

第4章 「国際共産党日本支部日本共産党」の誕生

第5章 「一国一党の原則」と外国人共産主義者

第6章 「ソ連防衛」のために

第7章 弾圧と転向に抗して

第8章 戦前／戦中／戦後の連続と断絶

第9章 中国革命と「極東コミンフォルム」

第10章 朝鮮戦争下の日本の共産主義者

第11章 東アジア国際共産主義運動の「五五年体制」

おわりに—「帝国の共産党」の遺産—

〈著者紹介〉黒川伊織 (くろかわ いおり) : 1974年生まれ、神戸大学大学院国際文化学研究所協力研究員

～版元から～ 第一次大戦後、ロシア革命のインパクトとコミンテルンの働きかけのもと、東アジアの各地には共産党が成立しました。現に存在するものとは異なる世界を夢見た東アジアの共産主義者たちの運命は、複雑に交錯したあと、1950年代半ば以後には一国的に分岐していきます。彼方に東アジアの変革を見据えつつ日本の変革に身を投じた日本の共産主義者たちは、戦争と革命の20世紀をいかに生きたのか。有名無名の活動家たちの営みを丹念にたどりなおすことにより、革命の夢が潰えたのちもなお色褪せない彼らの〈生きられた経験〉の意味を問います。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	<b>戦争・革命の東アジアと日本の共産主義</b> —1920—1970年— 黒川伊織 著	<b>日本史（近現代）</b> <b>政治・社会</b>
	ご担当	四六判・ハードカバー、374ページ 本体価格 2,800円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	<b>新刊</b> ISBN 978-4-908672-43-9 C1021	

ご注文は (株) JRC (人文・社会科学書流通センター) へ

返品条件付注文です。

FAX : 03-3294-2177

電話 : 03-5283-2230